

日本化学会第 88 春季年会 予稿原稿作成要項

2007/9/13

第 88 春季年会実行委員会

はじめに

このドキュメントは、第 88 春季年会の予稿原稿を PDF(Portable Document Format)形式ファイルで提出される方のために、作成上の留意事項をまとめたものです。本年会では予稿原稿の提出方法として PDF 形式ファイルによるオンライン提出を採用しています。実行委員会では、各種ワープロソフトの文書ファイルから PDF 形式ファイルへの変換サービスは行いませんのでご了承ください。

PDF 作成のもとになる原稿作成時の留意事項

1. 原稿のページ数：口頭講演(A・B・C・D 講演)・ポスター講演・依頼講演 1 頁
受賞講演・特別講演・特別企画・特別基調講演・基調講演・招待講演・若い世代の特別講演 2 頁

ファイルのサイズ：作成する PDF ファイルのサイズの上限は **50KB** を目安に下さい。

2. 使用可能なフォント：

コンピュータの機種・環境により文字化けが発生する可能性がありますので、使用可能なフォントは下記の範囲とします。

日本語： Windows MS 明朝または MS ゴシック
Macintosh MS 明朝または MS ゴシック、
平成明朝または平成角ゴシック、
ヒラギノ明朝またはヒラギノ角ゴ (Mac OS X)

(漢字は JIS 第二水準以内の文字をお使い下さい。)

英語： Windows、Macintosh とも

Adobe 社の定めた【欧文基本 14 書体】

Courier、Courier-Bold、Courier-BoldOblique、Courier-Oblique、
Helvetica、Helvetica-Bold、Helvetica-BoldOblique、Helvetica-Oblique、
Symbol、Times-Roman、Times-Bold、Times-BoldItalic、Times-Italic
ZapfDingbats (Times、Times New Roman を含む)

3. 原稿を作成するアプリケーションと OS：

原稿を作成するアプリケーションに制限はありません。OS は Windows 98SE、Mac OS 8.6 または各々これ以降のバージョンを推奨します。

※ Windows Vista で原稿を作成した場合、入力した文字・フォントによっては XP 等の OS で正しく表示できない可能性がありますのでご注意ください。

参考 Microsoft：<http://support.microsoft.com/kb/927488/ja>

三美印刷：<http://www.sanbi.co.jp/sanbihp/sanbiicom/79icom.html>

4. 用紙の設定：

用紙サイズ： A4 判(297mm×210mm) 縦

余白(マージン)： 左 32mm、右 32mm、上 42mm、下 42mm に設定

余白の大きさは変更しないでください。 予稿集印刷時に原稿の一部が欠ける、他の原稿とのバランスがとれない、などのトラブルの原因になります。

正確にこの寸法にできない場合は、1 段階大きく余白を設定してください(その分有効範囲は小さくなります)。

原稿用紙下部が余る場合も余白設定は変更しないでください。

有効範囲： A4 判の中心、幅 146mm 高さ 213mm の中で原稿を作成してください。

講演番号欄：講演番号を本会で記入しますので、有効範囲の左上、幅 40mm 高さ 15mm の部分を空けてください。

フォントサイズ： 10~10.5 ポイントが目安です。

行送り： 文字の高さを含む場合で 14~18 ポイント(4.95mm~6.36mm)程度が目安です。原稿の分量にあわせて調整してかまいません。有効範囲の下部が空くことは支障ありません。

5. 色：

文字を含め、色の使用に制限はありません。ただし最終印刷物は白黒になりますので、色によっては明確に出ない場合があります。グラフ等で区別が必要な場合は、色ではなく、線や網のパターンで区別することをお勧めします。

PDF ファイル作成時の留意事項

6. 写真や画像などの解像度と大きさ：

貼り込む写真や画像の解像度は 300dpi 程度がお勧めです。(ファイルサイズと仕上がりのバランスがよいと思われます)
予稿集印刷時には約 50%に縮小されますのでその点を考慮して原稿上の大きさを決めてください。

7. ファイル形式とファイル名：

ファイルは Adobe Acrobat Reader 4.0 以上で表示および印刷可能な PDF ファイルで提出していただきます。なお、ファイル名は講演番号を元にして必ず拡張子 (.pdf) をつけて下さい。

例： 講演番号 2A1-01 の場合 2_A1_01.pdf
1PA-100 の場合 1_PA_100.pdf

8. PDF ファイルの作成方法：

8-1. Mac OS X：

Mac OS X には、標準で PDF 形式のファイルを作成する機能があります。

プリントのダイアログにある「PDF として保存」を選んでください。その際に「拡張子を隠す」のチェックをはずすと、ファイル名に .pdf がついたことが確認できます。

8-2. Mac OS 9.2 以前および Windows：

Acrobat 4.0x 以降を用いて作成します。

作成方法については Acrobat 付属のマニュアルまたは別掲(<http://www.csj.jp/nenkai/>)の作成方法をご覧ください。必ず Acrobat Distiller を使って作成してください。特にイラストや画像、数式、グラフ等を含む PDF ファイルの作成に PDF Writer を使用すると、意図した出力にならない場合があります。

9. Acrobat 以外の方法：

Adobe Acrobat 以外にも、PDF 形式のファイルを作成することのできるソフトウェアがあります。

- ・ クセロ PDF <http://xelo.jp/xelopdf/>
- ・ PDF reDirect <http://www.exp-systems.com/>
- ・ PrimoPDF <http://www.primopdf.com/>
- ・ pdfFactory2 <http://www.mitsuiwa.co.jp/sol/3/>

(本会は紹介するのみで、使用方法等のサポートはできませんのでご了承ください)

10. 文書のセキュリティについて：

講演番号を本会にて記入しますので、PDF ファイルを作成する際には、文書のセキュリティを設定しないでください。

11. 作成した PDF ファイルの確認：

いずれの方法で作成した場合も、必ず Adobe Acrobat Reader 4.0 以上で表示および印刷を行い、意図した原稿になっていることを確認してください。

印刷の際には、印刷 (プリント) のダイアログ「印刷部数と調整」の箇所にある、次のチェックボックスを外してください。

- 用紙サイズに合わせてページを縮小
- 用紙サイズに合わせてページを拡大

(これらのチェックボックスが付いていると、実際の原稿寸法と異なって印刷されます)

また、次のチェックボックスを付けてください。

- ページの自動回転と中央配置

PDF ファイルの提出方法

—Web ページからアップロードしていただきます—

予稿原稿の PDF ファイルを提出する際には、講演番号通知に記載の受付番号と講演番号が必要です。

手順については、年会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)を参照してください。

提出された PDF ファイルの取り扱い

自動処理と縮小率：

予稿集作成の際は、提出いただいた PDF ファイルをもとに、自動的にレイアウト作業を行います。このため個別の原稿のゆがみや余白の相違には対応できません。

予稿集印刷時には元の PDF ファイルが約 50%の大きさに縮小されます。

以上